



軽費・養護老人ホーム経営セミナー

― 地域の中での生活支援拠点として必要なこと ―

主催：独立行政法人福祉医療機構

〈開催日〉 平成25年 2月 7日（木）

〈会 場〉 毎日新聞ビル・オーバルホール（大阪市北区梅田）

政府が平成24年2月に閣議決定した「社会保障・税一体改革大綱」により示されている2025年に向けた改革シナリオ等では、介護に係る政策の方向として、地域包括ケアが中心的なコンセプトとなっています。それは、住み慣れた地域で生活の継続を目指すために医療・介護等の包括的な支援の仕組みを構築することだとされています。

このような政策的な状況のなか、軽費老人ホームは、居住型施設と介護施設の役割を併せ持つことから、地域包括ケアを担うにふさわしい施設として、住まい・生活支援と介護・予防とのバランスのとれた事業展開が求められています。

また、養護老人ホームは、かつての経済的理由により利用する方を支える役割から、社会適合困難者や虐待を受けた方、高齢になった障がいを持つ方などを支える役割へと重点が移りつつあり、「セーフティネット」としての役割がますます重要になってきています。

他方、軽費老人ホームや養護老人ホームについては、利用者の加齢に伴う介護の重度化、そのための介護人材の確保、老朽化した施設の大規模修繕や建て替えなど経営面において様々な課題を抱えています。

この度のセミナーでは、これら施設の課題を踏まえ、これからの地域の生活支援拠点として進むべき方向について、皆様とともに考えて参りたいと思います。

09:40～10:10	受 付 （30分）
10:10～10:20 （10分）	オリエンテーション 開会あいさつ 独立行政法人福祉医療機構
10:20～11:30 （70分）	「介護保険の現状と軽費・養護老人ホーム」 〈講師〉 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長補佐 懸上 忠寿 氏
11:30～11:40 （10分）	「福祉貸付事業の概要について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 大阪支店 福祉審査課
11:40～12:40	休 憩 （60分） ※ 融資相談コーナー設置
12:40～13:50 （70分）	「ケアハウス センテナリアンにおける 生活支援と介護支援の取組について ～ケアハウスの役割と機能を考える～」 〈講師〉 社会福祉法人 敬聖会 総合施設長 堀口 悦郎 氏
13:50～14:00	休 憩 （10分）
14:00～15:10 （70分）	「セーフティネットとしての養護老人ホームの現状・課題と当施設の 取組について」 〈講師〉 社会福祉法人 梅仁会 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留 志郎 氏
15:10～15:20	休 憩 （10分）
15:20～16:30 （70分）	「新社会福祉法人会計基準の概要と軽費老人ホーム（ケアハウス）の 経営実態について」 〈説明者〉 独立行政法人福祉医療機構 経営支援室 経営企画課長 千葉 正展

※なお、講師および講義内容に変更が生じる場合がございますので、あらかじめご了承ください。